



第22号

発行所
東北地区屋外広告美術業組合連合会
情報文化委員会
事務局 仙台市宮城野区原町三丁目4番地10号
TEL 022-257-0437



機関紙「とうほく」によせて

東北地区屋外広告美術業組合連合会 会長 桴窪昌之

本日に日本経済はどうなっていくだろう。広告費は軒並み減らされ、資本主義の根本たる商品の売り込み、売上げの維持、ひいては各企業の仕事の確保等々、蝸が自足を食うのがとくに国内全体で足をひっぱりあつていようには見えなない。

屋上広告塔、交通広告看板、野建て看板等、媒体空き状況は惨憺たるものである。商店街、個々の商店サインも不況の中で背に腹をかえられず、どんどん予算を削られ同じサインを何度か繰り返し掲げて使用している有様である。これではどうみても質の良いサインができあがるか甚だ疑問である。

全国の一万以上あるといわれるサイン業者は、屋外広告景観に寄与しながらクライアントのためその訴求効果を最大限努力し、クライアントの最得意先である国民や市民に商品の活用性、利便性を周知させることの手助けができる。と自負するものにとつては、実にジレンマの溜まる状態におかれています。大げさかもしれないが日本経済の発展、国民の幸せにサイン業者は役に立っている状況が薄れつつあるのである。

日広連が発刊しているこのサインズジャパン誌の中で紹介されたすばらしいサインも既に撤去、取り払われているものもかなりあるのではないだろうか。また、逆に業界にとつても、見る立場の客にとつても首を傾げたくなくなるようなサインが横行しているのではないだろうか。経済状況の良好な中国のアーバンサインの質の向上は、否定できなくなつてきてはいないだろうか。いずれ我が国に変わって東北アジアのサイン製作リーダーとなつていくのではと不安に感じる昨今である。まさに、日本サイン頑張れの心境である。

国内サイン業界停滞気味のなかでの新たな例ではあるが、公共団体系の攻勢が目立つ。つまり、民間サイン業界の投資が築き上げた技術、デザイン力を利用して、各公共施設、特に人が多く集約する施設にネーミングライツとの手段によつて財源不足を補う手法による動きである。各施設のネーム権には放送、新聞などマスメディアによる広報の他、現地施設等に掲げる表札代わりの看板、箱文字等の他クライアントである企業の宣伝や商品のための大小様々なサインである。しかも、施設敷地内は景観法から除外されるため、大きさ等に見合った権利料さえ納めればよく、制限は

ない状況である。それは、役所が我々媒体屋と同じにして新分野に参入してきた瞬間でもある。かつての国鉄、公共交通メディアの有効利用を開拓した代理店と同じ状況へと進んでいつている。日々変化そして進化していく広告資本主義の定めなのであるか。しかしながら、これらのことはサイン業界の方向に新しいメッセージが隠されているような気がしている。

景気の二番底が伝えられる昨今では、我々業界ならずとも無鉄砲に失敗のリスクを考えずに進んでいくことは厳しいと思う。たつた一回の失敗が企業、会社の命取りになりかねない。しかしながら不況の中、指を揃えていただけでは生き残れない。せめて日広連ビジョンのなかでヒントを見つけることはできないのだろうか。社会環境、社会背景、新素材、伝統素材の新たな活用等々、それこそ机上ではあるが、難局打開のキーワードのひとつに低炭素社会をめざすグローバルな温暖化効果ガス削減を打ち出した。国際公約として二〇二〇年までに対九〇年比二五%削減を謳っている。当然ながら、サイン業界にも影響を及ぼすだろう。さらにエコ、廃棄物のリサイクル、大量生産、大量消費等々、これからのサイン業界に与えられる使命は多種多様になるのではないだろうか。一層の飛躍を祈念する。

追伸

昨年は、前福島県屋外広告美術協同組合理事長で元日広連監事黒澤功先生の秋の叙勲、東北地区連としての久々の慶事、誠にめでとうございます。当業界における数々の貢献はもちろん永年の御苦労に対しても当然のこととはいえ、まずはお喜び申し上げる次第です。また、本年三月の地区総会もめでたく五十周年を迎えた岩手県屋外広告美術業協同組合にて開催され、併せて同時に節目の式典も盛大に行われる事も本当に喜ばしいものと思っております。



テンション上がる仕事したい!

みんなをアッ!と驚かせたいなあ

ギンギラ看板が作りたい!!

なにか新しい提案ができればなあ...

彼女にカッコイイ作品を自慢したい!

あなたの創造力のサポーターでありたい!

Imagine. **Roland**

30 1981-2011

世界一目立ちたい!

自分自身が誇りに思える作品を作りたい!

喜ばれたい!

ローランドディー・ジー株式会社 仙台営業所
〒980-0802 仙台市青葉区二日町 11-11 ANDO ビル 1F 022(267)6840
<http://www.rolanddg.jp/>

Heartfull Message from Rifrein

美しいものをリフレイン

外壁や内装など、さまざまな商業空間を演出するリフレインの技術。美しいものを今日から明日へ、明日から未来へ。時代のニーズをキャッチしながら、美しいものをくり返すことこそ、私たちリフレインの使命です。

リフレインがお届けする **3つのサービス**

- 看板資材販売
 - マーキングフィルム
 - ガラス用フィルム
 - インクジェットメディア
 - 看板用資材
 - 看板ディスプレイ用電材
- 出力関連機器販売
 - インクジェットプリンタ
 - カuttingプロット
 - ラミネーター
 - 各種PC
- 出力サービス
 - 一般…塩ビ、ターボリン、電飾
 - 布製品…防炎認定取得
 - 壁紙…F☆☆☆☆取得
 - ウィンドフィルム…白出力可能

【社名の由来】「快汗感涙」
リフレインは、そもそも反復句を意味。正しくは「refrain」と綴りますが、読み間違いをなくするために「rifrein」とし、「美しいものをくり返したい」という思いを凝縮させました。
ロゴマークは「汗」をシンボリックに描き、お客様のために尽くそうという願いを形にしました。

Rifrein Art Supply
株式会社 リフレイン
〒984-0001 宮城県仙台市若林区鶴代町4-27
TEL 022-237-3271 FAX 022-237-3273
e-mail: printing@rifrein.co.jp

Mimaki ミマキ工業株式会社
3M Scotchcal Graphic Film

第33回 東北6県公共キャンペーン作品展

第三十三回東北六県公共キャンペーン作品展審査講評

審査委員長 岩手大学教育学部特任教授 武元伸次先生
審査委員 岩手デザイナー協会会長 杉本吉武先生

《総評》

審査日の展示場は小雨の中、盛岡城跡公園の緑を背に生彩を放っていた。この亀が池歩道上では、しばしば街頭演説・募金活動が見られ、そのイメージとも重なり、キャンペーンストリームの印象が強まった。
関係者六人での申し合わせの後、三人の各審査員が八十点を選り、集計の結果十九点が上がった。水準が揃っており、匠の裏打ちによる地球生態圏のエネルギー感が伝わった。この中二票以上得た作品は八点あり、この八点を受賞作品として、協議を重ね、各賞の該当作品を決めた。

審査票の採点欄は十一の項目から成り、これ等は、一、創造意図、二、技術、三、社会通用性の三項目にバランスの優れている作品を括れるものとして一十二十三の総合力、バランスの優れている作品を選考した。普通のテーマ(地球環境)への取り組みにより、持続性社会の重大さが浮かび上がった。
出展作品を分類すると、内容的には日常のエピソードを扱ったもの七点(二三%)、他は一般的時事用語のコピーとイメージ図像を組み合わせた定型型である。特に地球形(球、円、象徴形)を表したものは十八点(八〇%)に及んだ。形体では抜き文字や立体イラストのものを除いて、画面白体化したものが六件(二〇%)であった。手法では高速情報社会イメージの切れ味のよい立体文字や日本風俗イメージの彫刻文字等、素材(主題+用材)とデザインプロセスの適性を考えさせられた。量産日用品の活用、オーガニック形(曲線)の表現、グラデーションによる色彩調節で曲面を一層柔和に立体視させる等が成功例として記憶に残った。

本展は地球環境に対する共通認識を高めるとともに、広告美術業というメディアへの関心も呼んだ。視点と視野、俯瞰図や透視図と画面構成、材質+色+立体化+文字(触覚的型文字、言葉(コピー)の業にも枝や根がある(表現の脈絡等)視掛け(SIKAKE)の想像は尽きない。
当キャンペーン関係諸氏への謝意とともに屋外広告の発展を念じ、物作り現場のデザイン理念として、今年生誕百年に当たるレオ・レオーニ(一九〇一-一九九九)の言葉でこの稿を結ぶ。『自らが作る物を通して、道徳的主張をすることは、重大で切迫した行為であり、パブリックな責任を伴うものである。』

《講評》
国土交通大臣賞 No.29「天水の恵み」は、水道に頼らず昔の庶民の知恵を現代のECOにつなげる様子を味のあるレトロ調の構成が評価された。タイトル文字の篆刻、本物の蛇口など素材のオリジナリティもギョウリーの足を止めるユニークさが光った看板という枠を超えた現代美術に近い仕上がりは秀逸である。

日広連会長賞 No.26は、アクリル板を二層にすることによって透過光の効果を生かしたアイデアが光った。クリアな地球をブルー系で抽象的にシンボライズ、キャッチコピーを小さくグラフィカルに決めた事も、シンプルで清潔な画面づくりに貢献している。

東北地区連会長賞 No.23は、サインボードをそのまま無垢の材を生かし、他作品との差別化とそのアイデアが評価された。彫り込み文字も単純な画面構成とともにギョウリーの足を止めさせる。木をキャンバスに見立てながら木枠だけが額状になっているのもユニークである。

優秀賞
同じレベルの五作品にきまった。
No.18は、地球温暖化を招く種々の問題をうちわに表示して地球を冷やす様子をシメトリ的な画面構成で訴えた。様々な問題を単純にする事により、視認度を高めている黒地も原色を生かした効果があった。

No.12は、全く忘れかけている地震をテーマにした作品であるが、公共の場で三陸地震を知らしめる啓発をした事も価値が大きい。やや説明的なサブコピーを整理すれば完成度は高まる。
No.22は、今夏の異常気象をタイムリーに表現、動物まで熱中症になる地球の危機をユニークに警鐘した。動物好きの子供達にも共感を与えるイラストも分かりやすく、今年でなければ生まれなない作品である。デザインは今を伝える使命は評価される。

No.3は、異形のブック状にした造りが目を引いた。見る事より読ませるパネルづくりも街中で面白い発想である。大きな半立体の絵本であるが、個性ある「見せ方」が新鮮な作品である。
No.2は、半立体を生かした清潔な画面構成が評価された。チャンネル文字も品格がある。全体のブルーとホワイトの中の南極の赤が効いている。

STOP CO2は、下方に小さく決めた方が良くと思う。

STOP CO2は、下方に小さく決めた方が良くと思う。

STOP CO2は、下方に小さく決めた方が良くと思う。

STOP CO2は、下方に小さく決めた方が良くと思う。



第1位 国土交通大臣賞
「地球温暖化防止」福島県 (有)タカ工芸社



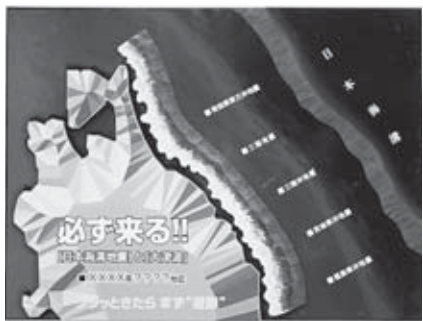
第2位 日広連会長賞
「地球温暖化防止」福島県 (株)クリエイティブダイワ



第3位 東北地区連会長賞
「地球温暖化防止」宮城県 (有)カンノ広芸



第4位 優秀賞
「環境」岩手県 (有)栄建



第5位 優秀賞
「環境」岩手県 (有)第一美工



第6位 優秀賞
「地球温暖化防止」山形県 (有)マルケイ工芸社



第7位 優秀賞
「地球温暖化防止」青森県 (株)イーアイサイン



第8位 優秀賞
「地球温暖化防止」青森県 (株)イーアイサイン

ふるさと能山 尔向ひて
言ふ事那し
ふるさとの山者
あり可多記可奈

おかげさまで組合創立50周年

岩手県屋外広告美術業協同組合
理事長 白澤健次
〒020-0173 岩手県岩手郡滝沢村菓子187-1
TEL (019) 645-3140 / FAX (019) 646-1924

桜井株式会社
全国販売代理店

仙台支店
〒983-0043 仙台市宮城野区萩野町1-19-1
TEL (022) 237-1820 FAX (022) 237-1823
http://www.sakurai.co.jp

株式会社スター商事

青森営業所
〒030-0955 青森市駒込桐ノ沢22-3
TEL (017) 743-4841 FAX (017) 743-4844

仙台営業所
〒983-0043 仙台市宮城野区萩野町1-19-1
TEL (022) 237-1831 FAX (022) 237-6550

マーキングフィルム	Viewcal900・880・560シリーズ
インクジェットメディア	HiLucky・NEW LuckyColorSheet
ラミネートフィルム	SGJET・LSJET・LLJET
オリジナル壁紙	LAGプロテクト・LAGマウント
高輝度LED	WALJET(F☆☆☆☆等級大臣認定番号取得)
プリント&カットソフト	Bandilight F-LED(完全防水タイプ)
インクジェットプリンター&カッティングプロッタ	スターシリウスシステム・カルカッタ

青 森 県



青森県外広告美術協同組合 副理事長 技術開発委員長 松尾節 男(男)

組合組織のあり方ともものづくり

懐かしい弟子時代

子供のころから絵を描くのと「ものづくり」が大好きだったので、衣服が汚れても全然気にならない性格でした。見習い(給料らしき金額は一カ月六、〇〇〇円程度)から職人へ(月五万円前後と記憶)として認められるまで十年間の修行。仕事を教えて貰いおこずかい迄貰えたわけですから……安いとは思わなかった。師匠と兄弟子の仕事を横目で見ながら、手元として動き回っていました。

組合創立から五十一年

「映画の看板描き」をはじめ「楷書体は千葉看板の千葉作太郎氏(千葉相談役の父君)」「行書体は八重樫看板(私の師匠)の八重樫繁雄氏」等々、何れの手描き文字も甲、乙付けがたい作品ばかり(下書きなしで三尺〜四尺角の大文字を描いていた時代)……。当時は労働大臣認定の技能士制度もない時代、まさに「現代の名工」の称号に値する技術だと思えます。先人達の組合活動に感謝すると共にご冥福をお祈りします。

昨年三月二十七日、浅虫温泉にて開催の「当組合創立五十周年記念式典」には早朝にもかかわらず親団体であります日広連牧野副会長(北海道)、増田副会長(東北)、東北地区連村窪会長をはじめ地区連合会の役員、会員皆様方にはお忙しい中ご出席をいただき、ありがとうございました。

木製看板(枠組みは杉材、合板はブナのベニヤ、当時はラワン材はなかった) 亜鉛鉄板張り)の枠組みから、塗装作業(劇薬の塩酸で洗ってから下塗り、中塗り、そして仕上げへ)。ペタ置きで塗れば叱られ(立てかけて塗れば流してしまっただけ……未熟だった) こと、筆の使い方、刷毛と筆の洗い方等、現場描きから取り付け作業までのさまざまな流れなど師匠、兄弟子の(技)を横目でみながら自分の物にして来た訳です。師匠を含め同業親方は自分が一番(二番はない)「言い方はきついが心が広く」と言えば聞こえはいいが、お酒が入ればなおさらの事、とても怖かった記憶があります。各親方はお互いが技術を含めた持ち味が、取り付けられた

半世紀を越えて引き継がれてきた歴史ある当組合ではありますが、最盛期には一〇〇名の大所帯、現在は三四名という会員数会員として三十六年間お世話になって来ました。この間、日広連中央委員として経営労務、組織振興委員会の中央会議に出席してきましたが、「他地区連」中央委員の顔ぶれを見ても失礼ながら職人上りの委員があまり

出席されていなかったように感じます。チョット寂しい限りです。会員の減少に歯止めがかからない現状、よって組合維持にも危機感を持っています。

そして最新のICとIJ、周辺機器の導入により設備機器の高額なりース料等に追われ毎日仕事量の減少等々、課題はいっぱいありますが昨年開業した東北新幹線新青森駅の開業に伴い多少の経済効果も期待される場所ですがもともと弱い業界です。当組合でただひとつ誇れるとすれば、技能五輪、技能グランプリへの連続選手派遣(上位入賞多数)があります。先輩会員が守ってこられた組合組織、共同受注をはじめ「創立五十一年」から六十周年へ向け私自身、職人根性を捨てることなく若い気持ちで「技術の向上と安心安全な商品づくり」を忘れないで、技術開発委員長として国家資格である技能士の育成に微力ながら協力できたかと考えています。

最後に、景気のいい話は聞かせてきませんが、地区連会員の皆様へ「酒と女は二合(二号)まで」ご健康と益々の発展をお祈りします。

エックスレンタカー Rent-A-Car

レジャーに、お引越しに、工事作業に至るまで……、車のことならなんでも!!

BOXバンから10人乗ワゴン

高所作業車 スカイマスター/スーパーテッキ

マイクロバス

エックスレントリーズ北都株式会社

本社 TEL 022-385-6891・六丁の目営業所 / TEL 022-288-3711

福島営業所 TEL 024-545-7755 会津営業所 TEL 0242-33-3711
郡山営業所 TEL 024-935-3711 米沢営業所 TEL 0238-23-4711
いわき営業所 TEL 0246-25-5333 山形営業所 TEL 023-624-0151

LED投光器 エスポ

永 寿 保

新発売 8W エコタイプ

100V direct LED module TACKLE SERIES

小さな外照看板に!!

- ・高出力LED搭載
- ・コンパクト設計
- ・防雨仕様(IP67)
- ・色:黒、白、茶

LED企画・開発・販売 株式会社 アイ・エス・パートナー AIKOUGEI Group

http://www.is-part.com

TEL.03-5917-3680 FAX.03-3974-5595

代理店募集中

タッチパネルをもっと身近に手軽に We TOUCH ウィタッチ

デジタルサイネージの新しい形 WeTouch(ウィタッチ)

WeTouch(ウィタッチ)は、タッチパネル方式で、必要な情報を、瞬時に手に入れることができます。ショッピングモール・デパート・ホテル・駅・公共施設など人の集まる場所に。ログも取れるので、お客様がどの情報に関心があるのか、分析もできます。ネットワーク形式で、離れたところからコンテンツの変更もできます。

サイン・看板業様向けに25年の長きに渡り、ご愛顧頂いている「マルチポップ」、冠婚葬祭業様・生花業様・ホテル・結婚式場様など、幅広い業界にお使い頂いている「筆の先生」この二つが統合した その名も!

「マルチポップ」「筆の先生」の機能はそのまま継承!

Windows7 対応 新発売 筆の先生 Pro ProV

〒983-0006 宮城県仙台市宮城野区福室3-16-22-101
TEL 022-254-7128 / FAX 022-254-7138
http://www.nspop.co.jp sendai@nspop.co.jp

秋 田 県



おなじ星を見上げて

秋田県屋外広告美術協同組合

吉 田

龍(吉田カンバン)

人間の感動というのは、その人の内部にあるのではなく、人と人との間にあるのだという言葉を最近どこかで読んだ。

人生六十年近くも生きてみると、諸々の経験からくる慣れというもののせいなのか、もうちつとやそつとの事では感動しなくなる。でも不思議な事に、なぜかそれに反比例するかのようには涙腺が緩くなってきた気がする。ペビーカーの中でグッスリ眠ってる赤ん坊を見た時とか、青い空をじつと見上げてる犬を見た時とか、ベンチに腰掛け日向ぼっこをしてる老人を見かけた時とか、別にどうって事もないちよつとした瞬間に突然わけもなくウルウルきたりする。涙腺のパツキンが経年劣化で馬鹿になりかけてきてるのだろうか。年齢的にはかなりゴール(?)に近づいてきたせいもあるか、どちらかと言うと世の無常を感じさせられるものに反応しやすくなってきたようだ。勿論これは感動とはちよつと違うが。

昨年一月、生涯の友とも言うべき大切な友人を失った。癌である。私より三コ歳上の先輩ではあったが、見た目も若々しく、下手すれば四十代後半くらいにさえ見えたものだ。それだけに六十二歳という早すぎる死は周囲の誰の目にも痛々しく映ったはずだ。

勤め先は地元の地方新聞社。定年後も役員として残り、多方面において人望も厚く、仕事もでき、この新聞社の顔とも言える中心的存在だったと聞く。今更ながら、私が思ってた以上に大きな人だったらしい。そのような人格者がなぜ私のような自堕落な人間を友として彼の人生の中へ迎え入れてくれたのか不思議に思ったりもするが、まあそこが人格者の人格者たるところなのだろう。

元々が、じつと始めたらいつまででもじつとしてるといふ、まるで頭の悪い忠犬ハチ公の

ような横着な人生を全うしかけていた私を、彼は聞き分けのない猫を扱うが如くに首根っこを摘まみ上げ、半ば強引と言えば強引に、ある時は山登り、ある時はあっちこちの美術館巡り、ある時は遙か伊勢神宮まで初詣、デイズニールンドに行つたかと思うと、厳寒の函館。春には桜、秋には紅葉、映画に芝居に温泉と、あげくの果てには海外までも連れ回してくれたものだ。おつきあひさせてもらって二十年ちよつと、人間つてのはこんなにも人様の世話になれるものなのかつてくらいに世話になり尽くした感がある。長い人生だものそのうちに恩返しのひとつもできるような日もあるだろうと高をくくっていたのが大きな間違いだった。結局癌が発症してから、秋田、東京、大阪、仙台と様々な専門医の治療を試みるもそのかいなく、わずか三年足らずで旅立ってしまった。すっかり彼まかせにしていた私のこれからの人生設計は大きく狂ってしまうこととなった。また元のハチ公に逆戻りというわけだ。まるでオチのない落語のような結末である。

出すものなのではなからうか。事実、彼はいつだって感動を独り占めすることとはなく、常に誰かと共有することを望んでいたようだ。そうやって誰かと共有できることがそれが彼にとつての最高の感動の形だったのだろうと今頃になってなんとなく理解できたりもしているわけだ。と言うより、感動というものは元来きつとそういうものなのだろう。無人島でたったひとりつきりて名作映画のワンシーンのような燃えるような夕陽を眺めていたとしても、それはただ寂しいだけのことだもの。

手前勝手な憶測だが、生前彼には甘え放題でただただ世話をかけてきたばかりだっただけだと思つていたが、意外に私も彼のちよつと短すぎた人生の中の感動の一端を担っていたのかも知れない。だつたとしたらうれいし、こんな救われることはない。

早いような遅いような、もうすぐ彼の一周忌が訪れる。

そんな彼から去年の元旦に届いた、亡くなる一、二週間程前に書かれたものであるう最後の年賀状のメッセージをここに書き留めておく。

『二〇一〇年
ことしも三六五日しかありません
ことしも三六五日もありません
ことしも十二カ月しかありません
ことしも八七六〇時間もありません
ことしも春夏秋冬は一回しかありません
ことしも四季の喜びは無限にあります
ことしも
ちよつとびりといえればちよつとびり
たつぷりといえればたつぷり
いずれにしても
みなさんにとつて
思わずスキップでもしたくなるような
思い出深い一年でありますように』
新年早々、決して明るいというわけではない
話題で失礼しました。



インクジェット用資材からスクリーン資材
サイン&ディスプレイ機材・資材販売

設備販売 ・インクジェットプリンタ ・昇華転写システム
・スクリーン印刷機 ・彫刻機 ・周辺機器

資材販売 ・水性、溶剤系インクジェットプリンタ用メディア各種
・マーキングフィルム ・スクリーン印刷用資材
・転写用材料 ・ラミネートフィルム 看板材料全般

出カサービス ・3.3m溶剤プリンタ保有大型屋外広告物
・シルクスクリーン ・昇華転写(のぼり、旗等)
・低価格、高品質、短納期対応

東北ミノグループ株式会社
〒983-0034 宮城県仙台市宮城野区扇町3丁目4-23
TEL:022-238-8995 FAX:022-238-9406
E-mail:e1k@tohoku-mino.com
URL http://www.tohoku-mino.com

秋田県屋外広告美術協同組合賛助会員

- **株式会社アサヒヤ塗料**
秋田市仁井田路見町6-21 TEL018-839-2664
- **三和塗料販売株式会社**
秋田市川尻町字大川反170-40 TEL018-863-8711
- **中村塗料販売株式会社**
秋田市寺内蛭根85-25 TEL018-863-2005
- **株式会社丸和商会**
秋田市東通6丁目9-4グランデール東通101号 TEL018-874-8731
- **(株)システムアート秋田**
秋田市外旭川字田中43-3 TEL018-864-7514



「東北の観光、そして…景観と屋外広告」

宮城県屋外広告美術協同組合 副理事長 阿部 泰彦(株アへ美装)

◎東北は観光資源の宝の山
青森まで待望の新幹線が開通し、東北の地にも希望の光がさして来たような気がします。青森県をはじめ東北の各県には、全国に誇れる観光資源や毎年盛大に行われる祭りがいっぱいあります。



新青森駅 しんあおもりえき

新幹線や高速道の開通によって東北の観光は、益々発展する可能性は大きいと思われまます。
観光は人々の余暇活動や生活のエンジョイなどだけでなく一次、二次、三次産業まで幅広く関わる総合産業とも言われております。
観光産業がもたらす経済効果や雇用拡大効果は、新しいこれからの時代の産業として脚光を浴びて、全国の市町村に於いては、観光事業、観光産業に力をいれ、地域開発や町づくりの事業を行政の目玉として重点的に取り込んでおり、また民間観光団体や企業においても観光や地域の物産を広くPRしながら地域発展を目指して努力している昨今です。
国では平成十九年に観光立国推進基本法を施行し、平成二十年には観光庁が発足するなど、観光を国家戦略プロジェクトのメインに位置付けた施策を展開中でありまます。
少子高齢化の時代の進展に伴い、東北の各県でも人口減少傾向は強まり、こうした定住人口の減少は、消費の減少や生産活動の停滞、縮小に繋がり、経済全体の規模を縮小させる現象だと懸念されております。
これら定住人口の減少に歯止めをかけ、交流人口の増加によって人口減少を補うための取り組みが各地で盛んに行われています。
東北新幹線の新青森までの開通や、三陸道の延伸、そして高速道路の引き直し制度による利用者の増加等により東京から東北地方への移動時間が短縮されるとともに、東北地方に新幹線や高速道路による交通ネットワークが形成され、観光客の行動範囲が一層広がり観光ルートの情報も増えてきております。

そこで、最近では観光の広域化が重要なポイントになっていきます。
近隣の地区、市町村、隣県同志の県際は観光客の奪い合いの「競走相手」ではなく連携をとって広域的な観光への取り組みを強く考えなくてはなりません。

また、東北にも外国人観光客が増えてきており、このようなことも東北の観光における近い将来の課題だとされています。
地域の観光資源を再発見し時代とともに変化する旅行者のニーズの多様化に対応した新しい観光資源の開発と取り組みが大切で、豊かな自然や、美味しい食、歴史や文化を生かした魅力ある観光、観光と環境、景観そして屋外広告が共生するこれからの時代にしなければなりません。
◎美しい日本、東北らしい景観
国では「美しい国づくり」「観光立国」を目指して、地域の特性を生かした景観づくりを進めるため、平成十六年六月に「景観法」を制定し、また、全国の各県や特に観光地を抱える市町村においても良好な景観の整備に向けた取り組みや、方策等を民間市民と行政が一体となつて地域の景観を守り、生かして育てる「景観計画」の策定を進めております。
景観はなぜ、大切なのか…、各地の歴史的な建造物、地域固有の特色ある貴重な景観を後生まで保存し、残していくことの大切さは、地域を愛する精神を造り上げていくことであり、地域協働で景観整備を推進することで景観の特性を活かした地域相互の交流が見込まれ、地域文化の発展がなされます。
良好な景観を整備することによって地域には様々な相乗効果も期待されますが行政だけでは足りないものではなく、地域皆の理解と継続的協力が必要だと考えます。
私達、屋外広告業界におきましても、景観に



関する理解を深めて、素晴らしい地域、東北、そして日本の国土を創っていくようではありませんか。
◎時代の変化と、屋外広告
自然の美しさや、名所旧跡が大きな観光の要素として重視されている今日、自然の保護や、景観、環境への取り組みについても、私達屋外広告業界として深く理解し、周辺への景観等との調和を図って進めて行くことが強く要求されております。
観光地を訪れやすくなるためには、道路、空港や港湾などのインフラ整備とともに、更には案内看板等の整備も重要な課題となります。
観光地においては特に「まちなか景観」の整備に努力し、保存しなければならぬ景観の整備、新しい景観の創造発見のためにも屋外広告の役割は大きいものがあります。
景観に関する法律や条例の中でも、決して規制だけでなくその地域にマッチした景観に溶け込む屋外広告のあり方に留意すべきと思えます。
近年、全国各地、市街地の隅々まで、所かまわず、屋外広告看板が氾濫している反面、高度成長期やバブル時代に巨大な広告媒体として設置されたビルの屋上広告塔や大型の野立て広告看板などは、長らく不況の影響で次々と姿を消し、全国何処でも同様な光景であった駅前風景や都市部の市街地の広告看板、乱立する野立て看板の光景も様変わりし、東北の各地に至る所に大型スーパールの巨大広告塔が目止まる時代になりました。

私達、屋外広告業界も世界的不況のドン底にいながら、これに追い討ちを駆けるように、電子機械の発達は異業種の参入を促し、建設不況企業の経営削減などの影響による受注の大幅減少などにより経営環境は大きく変化し、益々厳しい状況になってしまいました。
時代が変わり、人間の生き方、考え方、価値観も全く変わりました。
これからの世の中はどのようなに変わり、どのような時代になって行くのでしょうか。
拓け行く東北の新时代に向けて屋外広告業界も観光、環境、景観の問題を一体となつて取り組みながら進んで行くことも知れません。
(社団法人宮城県登米市観光物産協会会長)



高所作業車各種・車輛・発電機から
汎用機・特種建設機械の総合レンタル
会員カード
電話予約1本で24時間365日
車輛の貸し出し・返却ができる
レンタカー型カーシェアリングを
行っています!
※仙台中央モビステーションにて
(仙台東インターそば)
西尾レントオール株式会社
東北営業部 http://www.nishio-rent.co.jp/
仙台営業所 / 仙台市泉区泉ヶ丘1-12-3 TEL.022-373-5555
古川機械ヤード / 大崎市古川稲葉字前田63-1 TEL.022-288-3240
仙台中央営業所 / 仙台市若林区卸町東5-7-1 TEL.022-382-5661
仙台南営業所 / 名取市植松字田野部57-1 TEL.0229-23-3235
柴田機械ヤード / 柴田郡柴田町大字船迫字川前55-1 TEL.0224-58-8240
上記以外、岩手県・山形県・福島県にも営業所があります。

高所作業車各種・車輛・発電機から
汎用機・特種建設機械の総合レンタル
会員カード
電話予約1本で24時間365日
車輛の貸し出し・返却ができる
レンタカー型カーシェアリングを
行っています!
※仙台中央モビステーションにて
(仙台東インターそば)
西尾レントオール株式会社
東北営業部 http://www.nishio-rent.co.jp/
仙台営業所 / 仙台市泉区泉ヶ丘1-12-3 TEL.022-373-5555
古川機械ヤード / 大崎市古川稲葉字前田63-1 TEL.022-288-3240
仙台中央営業所 / 仙台市若林区卸町東5-7-1 TEL.022-382-5661
仙台南営業所 / 名取市植松字田野部57-1 TEL.0229-23-3235
柴田機械ヤード / 柴田郡柴田町大字船迫字川前55-1 TEL.0224-58-8240
上記以外、岩手県・山形県・福島県にも営業所があります。

街並みに
夢と活力生む
サイン
中小企業人材確保推進事業認定団体
宮城県屋外広告美術協同組合
理事長 杼窪昌之
仙台市宮城野区原町三丁目4-10
TEL 022-257-0437 FAX 022-299-5433

山形県



ある陶工の話から

山形県屋外広告美術協同組合情報文化委員長 丹野聖 (ナカノ工房)

あけましておめでとうございます。また新しい歳を迎えました。会員の皆様におかれましては、旧年はどのような歳でありましたでしょうか。念頭に目指した目標は達成できましたでしょうか。目標を達成できた皆様には、心よりお祝い申し上げます。また新たな気持ちで、本年も一年の計を立て達成に努力したいと思っております。

さて、毎年この時期に機関誌「とうほく」への投稿を要求されますが、毎年このことながら頭を痛める時期です。相変わらず拙い文章におつきあい願います。われわれ業界にデジタルの波が押し寄せて、それなりの設備投資を余儀なくされてから随分時間がたつたように思います。確かに、筆を使う時間も機会も少なくなりました。しかし、筆を捨てたわけではないし、忘れてしまったわけでもない。でも、確かに中指にあつたはずの「筆だこ」がなくなつてしまつた。先人たちも私たちも、これからお客様に提供する「看板」やその他にもつねに目指すものに「美」がありますし、「品」を創造しようと努力し勉強してきました。それは言うまでもなく、道具が時代につれて変化しても変わらないはず。時代につれて「美」の基準や考え方が変化しようと、きっと「芯」があるはず。昔、俳聖芭蕉が「流行と不易」という言葉を同門の士へ言ったそうです。釈迦に説法ですが、時代の流れに沿って言葉や所作が変化するのは仕方がないことだけれども、変えてはならないもの「芯」を常に意識して変化や時代に負けない創造に努力、勉強するべきですよ。ということでしょうか。

あるテレビ番組を見ていましたところ、伝統工芸「薩摩焼」の特集番組を放送しております。そこには「沈壽官」という陶工が出ており、彼の経営する会社と彼自身がその番組の中心でした。彼「沈壽官」は十五代目で十五代変わらぬに名前を踏襲してきたそうです。時の細川氏が秀吉の朝鮮出兵の折同行し、その帰りに多くの陶工を連れて帰り、その中の一人が「沈壽官」だったそうで、時代がゆくにつれて他の陶工は日本風の名前に変えてゆく中、彼の一族だけは朝鮮の名前を守つてきたそうです。四百年にもなるうかという年月を「美と品」を守つて今日まで続けてきた。頭の下がる思いでいっぱいです。「風濤をこえて」という番組の命題でしたが、まさしくそのとおりのご一族の歴史だと思えます。最初は朝鮮から薩摩までの海路、江戸時代は藩の庇護のもと伝統を守り続けてきましたが、江戸から明治への時代の激動期は誰の庇護もなくなり廃業の危機を経験。戦争。そして現在まで。一族が経験なさつたことは、「風濤」そのものだったでしょう。彼はまさしく門前の小僧で、子供のころから父や祖父の仕事を見て体験して育つてきた。若いころに最愛の「母」に、毎朝のトーストをのせるための皿を一枚作つてあげようと考案作陶したそうです。そこで「はっ」と気付くと、今自分が作っている皿は過去の先人達がつつたもの、会社が過去に作り成功したもの。作ろうとした皿に何一つ自分が無い。愕然とした彼は、どうすれば自分を発見できるのだろうか、オリジナルを構築するには何をすればいいのだろうか。思いついたのは自分に染み付いた伝統を

一度捨ててみようと思ひ立ち親に相談し、イタリアに留学。そこで今までに自分の周りにはなかったものを勉強したそうです。ヨーロッパ風の作陶、オブジェ等。自分にとって新しいと思えるものあれやこれやと観、造り。数年の勉強期間を経て帰国。その経験を生かして仕事を進めているのかと、さぞかし斬新な伝統工芸を製作しているのかとテレビ画面を見つめていたが、彼の会社の従業員二〇名が黙々と進めているのは、まさしく数百年守つてきた手造りの伝統工芸そのものでした。いつも思い考えていることがあると彼は言います。「伝統というのは海に向かつて凛として立っている灯台のようなもので、灯台が動かずに光を放ち海を照らしているから航行する船は光を頼りに自由に動けるのだ」とその言葉を聞いて、わたしは冒頭に書きました「流行と不易」を思い出したのでした。彼はこうもいいます。「若いころ留学して様々な経験をし、勉強してみました。それを生かして、それまでの伝統に新しい形や彩色を試してみようと思ひましたが、うまくいきませんでした。しかし、気付いたことは、新しいことというのは外国や新時代の中にあるのではなく伝統そのものの中にあるのだ。過去の先人たちの仕事を見直し実践する中に、新しいものが潜んでいるのだ。まさに灯台と自由航行の船との関係で伝統という芯があるから新が生まれてくる」となんと素晴らしい言葉なのでしょう。「温故知新」そのものです。彼の仕事の数々が番組の最後に映し出されており、まさしく伝統に根ざしたオブジェそのもので、なんと「品」のあるうっとりする作品の数々でした。短い時間でしたが、何とも素敵でひと時を過ごさせていただきました。彼「沈壽官」さんの考えていること、実践なさっていることは充分私たちの業界にも当てはまることではないでしょうか。新しいと思われることを創造する時、この話を思い出しながら毎日の創造に生かすべく数ある蔵書でもめくり直してみましようか。

大型出力・ターボリン・メッシュシート・FF・・・その他なんでもOKです

出力お手伝い致します

弊社では、溶剤・UV・ルーターカットサービスから施工までお手伝い致します

二翼体制で
相互補完を
実現

価格

広大な工場が
生み出す
余裕

顧客満足度と
信頼性の高さ

納期

品質

システムの
最適化とスキル

株式会社 **原町サイン**

●本社 福島県南相馬市原町区北原字葉掛場56-1
Tel.0244-23-5727 fax.0244-24-4835
harasign@agate.plala.or.jp

Tel.0244-23-5727
http://www14.plala.or.jp/harasign

●東京工場 東京都江戸川区中央4-15-13
Tel.03-5678-1570 fax.03-5678-1571
harasigntokyo@cool.email.ne.jp

Scotchcal Film
Scotchprint Graphics
Scotchcal Graphics Material
Panagraphics
DI-NOC Film
Scotch-Tint
VHB tape
LED

住友スリーエム株式会社
特約加工代理店

株式会社丸和商会

宇都宮市瑞穂 3-5-14
TEL 028-656-3611

東京・高崎・郡山
仙台・秋田・青森

福島県



黒澤 功氏 旭日双光章受章祝賀会に出席して
福島県屋外広告美術協同組合情報文化委員長 齋藤 浩一 (齋藤塗装看板店)



東北地区連の皆様、明けましておめでとうございませう。わたくし、今回の寄稿で二回目となりますが、一昨年同様に寄稿依頼の文書を頂いてからというもの、さて何を書けば良いものかと思案の毎日、年末から正月にかけては何をしてもこの「冬休みの宿題」の事が頭の片すみにあり、気が重い日々を過ごしておりました。あつという間に、原稿の締め切り日も過ぎてしまい、催促の電話も無いのをいい事に平成二十三年一月二十九日に開催されました黒澤功氏(株式会社ケージャパン取締役会長・現東北地区連理事・福広美常任相談役)の旭日双光章受章祝賀会の出席を待って、この様子をレポートして寄稿とさせて頂きます。(木村委員長スミマセン)

当日朝、南相馬市、浪江町の会員五名にて車を乗合いで会場に向かいました。ひよつとしたら大雪になる事も予想され、はたして辿り着けるかと心配しましたが降雪も無く、また、除雪作業も行き届いていて道路にはさほど雪も無くスムーズに会場の会津若松市のワシントンホテルに到着する事ができました。とは言うものの同じ福島県でも冬は殆ど雪が積もることがない太平洋の海側に住む私達は側道に積もった雪を見てただ嘔然とするばかり、雪の多い地方に住む方々のご苦勞を改めて感じながらの道中でした。

さて祝賀会の会場には県内外から本当に沢山の方々がお集まりになっていて、同業の方々は勿論、地元の名士やご親族、遠くは北海道や関西の方からもお祝いに駆け付けた方もいらしたように二〇〇名を超えるご出席。受けられた勲章を胸に奥様とご一緒に会場入口で出席の皆様をお迎えする黒澤さんのお姿を拝見した時は、心からお祝いしたい気持ちと共に私自身もとても嬉しい気持ちになった瞬間でした。祝賀会式典は福広美副理事長高橋敏夫氏の開会のことばを皮切りに、大戸邦男福広美理事長による発起人代表挨拶、そして才田幸紀日広連会長はじめ衆議院議員渡部恒三氏、福島県知事佐藤雄平氏、会津若松市長菅家一郎氏、福広美顧問で前衆議院議員の根本匠氏、地元会津若松城南口ロータリークラブ会長の大家修一氏からのお祝いのことばがあり、それぞれに黒澤さんとの長年のお付き合いのお話をされながら今回の受章に際しては御本人と共に喜んでいらしたようでした。謝辞のなかで黒澤さんは、昨年の十一月八日に勲記、勲章の伝達式や奥様とご一緒に皇居豊明殿において感激の想いで天皇陛下に拝謁した様子などを語られ、喜びと感謝の気持ちを述べられていました。「今回の栄誉は、長きに渡り業界の発展のため共に尽くしてきた多くの仲間を代表しての受章と強く感じています。」との言葉に、決して驕ることない黒澤さんの人柄を感じる謝辞でありました。祝宴に入ると、多くの方々がステージ上で黒澤さんに記念品や花束を贈る姿が見られ、あふれる喜びの中、榎窪昌之東北地区連会長の万歳三唱で盛大な祝賀会の幕が閉じられたというものでした。

昭和三十年より看板業に就き、三十九年には独立し現在までご自分の会社を営まれる傍ら、県内外の業界関連の活動の中、数々の要職に就かれ、屋外広告業界の発展と後進の指導に尽くされて来た黒澤さん。その道程は私には想像も付かない程険しく、大変なご努力をされて来たのだらうと思えます。にもかかわらず、常に周囲の人達に掛ける気遣いが本当に丁寧な方という印象が強い黒澤さん。私が家業を手伝うようになりはじめて青年部として福広美の総会や研修会などに顔を出す様になった頃から毎回お会いする度、優しく声をかけて頂き、自分にはばかりか、「お袋さんは元氣?由香里ちゃん(私の家内です)とは仲良くやっていますか?」など私の家族にまで気に留めて下さいます。私が福広美の理事会に参加させて頂くようになった当時、理事長をされていた黒澤さんは会議の中で新しい人の意見もと幾度も私に発言の機会を与えて下さっていました。また今は亡き父が入院した折も、遠く会津から奥様とご一緒にお見舞いに来て下さり、体を動かす事が出来なくなつて、気弱になつてしまった父の手を握って一生懸命励ましてくださった姿は、今も忘れることが出来ません。一昨年でしたか父の仏前に突然にお線香を上げにお越しいただいたりして、私も母もちようど留守にしています。大変失礼いたしました。そんな黒澤さんのご厚情にはいつも唯々感謝するばかりです。ある人の話しを聞けば、黒澤さんはあれで結構頑固な面もあつて、「俺が黒と言ったら黒なんだ!」のいつてんばりでの周りの意見を一切受け付けない事もあつたと聞きます。会津の男らしく一本気ではあります、その心の内は誰にも負けない優しさで満ち溢れた方なんだなあと感じます。黒澤さん。この度の受章本当におめでとうございませう。この栄誉は、ご本人のみならず私達にとつても大変な誇りであり、これからの大きな励みとなるものではないでしょうか。黒澤さんを手本にして少しでも精進して行かなければならないなあとこの原稿を、書きながら思った次第です。最後にこの祝賀会の準備にご尽力された発起人の皆様、本当にお疲れ様でした。このお祝いの席に当人にも皆様にもお世話になつてばかりの私まで、ませて頂いた事に深く感謝いたします。有難う御座いました。

されて来た黒澤さん。その道程は私には想像も付かない程険しく、大変なご努力をされて来たのだらうと思えます。にもかかわらず、常に周囲の人達に掛ける気遣いが本当に丁寧な方という印象が強い黒澤さん。私が家業を手伝うようになりはじめて青年部として福広美の総会や研修会などに顔を出す様になった頃から毎回お会いする度、優しく声をかけて頂き、自分にはばかりか、「お袋さんは元氣?由香里ちゃん(私の家内です)とは仲良くやっていますか?」など私の家族にまで気に留めて下さいます。私が福広美の理事会に参加させて頂くようになった当時、理事長をされていた黒澤さんは会議の中で新しい人の意見もと幾度も私に発言の機会を与えて下さっていました。また今は亡き父が入院した折も、遠く会津から奥様とご一緒にお見舞いに来て下さり、体を動かす事が出来なくなつて、気弱になつてしまった父の手を握って一生懸命励ましてくださった姿は、今も忘れることが出来ません。一昨年でしたか父の仏前に突然にお線香を上げにお越しいただいたりして、私も母もちようど留守にしています。大変失礼いたしました。そんな黒澤さんのご厚情にはいつも唯々感謝するばかりです。ある人の話しを聞けば、黒澤さんはあれで結構頑固な面もあつて、「俺が黒と言ったら黒なんだ!」のいつてんばりでの周りの意見を一切受け付けない事もあつたと聞きます。会津の男らしく一本気ではあります、その心の内は誰にも負けない優しさで満ち溢れた方なんだなあと感じます。黒澤さん。この度の受章本当におめでとうございませう。この栄誉は、ご本人のみならず私達にとつても大変な誇りであり、これからの大きな励みとなるものではないでしょうか。黒澤さんを手本にして少しでも精進して行かなければならないなあとこの原稿を、書きながら思った次第です。最後にこの祝賀会の準備にご尽力された発起人の皆様、本当にお疲れ様でした。このお祝いの席に当人にも皆様にもお世話になつてばかりの私まで、ませて頂いた事に深く感謝いたします。有難う御座いました。



アルミ型材平看板専用部材!

エコサインフレーム

- 樹脂コーナーにより45°カット不要
- 初心者でも簡単に組める
- 塗装不要、軽い、錆びない

溶接不要! 塗装不要!!

エコサインフレーム S型

エコサインフレーム MJ型

エコサインフレーム M型

エコサインフレーム L型

エコサインラウンド

アルミ複合板

※イラスト図はそれぞれ外枠フレームの断面を表しています

お求めは各代理店様まで

有限会社 **アド・プロ広告社** 〒979-1151 福島県双葉郡富岡町大字本岡字新夜ノ森475-1
TEL.0240-22-1655 FAX.0240-22-1895

クオリティをかたちに。

各種看板・屋内外サイン・ネオンサイン・一級建築士事務所

株式会社 / クリエイティブ ダイワ

福島県郡山市田村町金屋字下夕川原6番地 〒963-0725
■TEL (024)944-0088 (代) ■FAX (024)944-0066

岩 手 県



自然の驚異と地域の財産
岩手県屋外広告美術業協同組合 飯岡 丈治 (イイオカ 丈治)

新年あけましておめでとうございます。平成二十二年も終わり、新しい年を向かえました。昨年の暮れは近年にない大荒れの年の瀬となり、大雪、大風、そして私が生まれてから初めて経験する、すごい雷となりました。家のガラスが壊れてしまいそうな勢いで鳴り響き、この雷の影響で、私の住む宮古市でも部分的な地区で停電となり、大晦日の日に電気を使えない時間を過ごしたと聞いております。私の住む地区では幸いに大丈夫であり、ホッとしながらも大変だったなあという思いでおります。

雪も多く、まだ道路脇には沢山残っており個人的には、あまり降ってもらいたくないと言う所ではありますが、小学三年生の息子はこの雪が三度の飯より大好きで、雪が降ると目の色を変えて外に飛び出して行きます。近くの土手でミニスキーをしたり、ソリをしたり、かまくらみたいな物を作ったりと、とにかく駆け回って喜んでおります。

考えてみると確かに私も小学生の時は、雪が降るのを待ちわびていて、今の息子と同じ、いや、以上だったかもと思う所があります。当時の事を考えると、今よりもっと雪が降ったように思うのですが、やはり何らかの異常気象的な事があり、雪の量も減ってきているのかなーとも思います。子供達には残念な事でもありますが、東北地区にもどうなんでしょうか？

今年初の仕事で、浄土ヶ浜パークホテル様に新年四日の日に伺いました。その時にもやはり今回の大晦日の大荒れの話となり、ホテルの窓から見える浄土ヶ浜の海の波が荒れて普段とは全然ちがう高いうねりの波を、確認できたと言った話でした。そして、この影響で浜辺が変形したと言う事でした。

この浄土ヶ浜は、皆様もご存知であると思いますが、宮古市の中でも有名な、全国的にも有名な、陸中海岸の中で最も人気のある景勝地となっており、年間を通して観光客で賑わう所でもあります。コバルトブルーに輝く海に、大小の白い岩が連なる自然の美しさに、三百年前にここを訪れた霊鏡和尚が、「さながら極楽浄土のようだ」と感嘆したと伝えられています。日本の水浴場八十八選に選定されている他、かおりの風景百選、日本の渚百選、日本の白砂青松百選にも指定されています。今の時期の雪が積もった浄土ヶ浜もまたいつそう神秘的ですばらしいです。花巻市出身の詩人宮沢賢治も、一九一七年に訪れ、「うるはしの海のピロード昆布らは寂光のはまに敷かれひかりぬ」と歌をよんだとされています。

海岸からの眺めはもちろんのこと、遊覧船に乗り湾内をまわる島めぐりも浄土ヶ浜を満喫する事ができますし、天然記念物の日出島や高さ四十メートル、幅七メートルの直立した大きな岩の「ローソク岩」や、幅役三十センチの小さ

なすき間から波が打ち寄せるたびに海水が吹き上げる「潮吹岩」も堪能する事が出来ます。また、私も恥ずかしながら二、三年前に知ったのですが、レンタルボートを利用して浄土ヶ浜内湾でのボートフィッシングが人気で、県内外より沢山の釣り好きの方々がおとずれていて、けっこうな良い型の海魚を釣られて帰るそうですし、釣った魚を食堂コーナーで調理し食べる事もできるということです。

私は小さな頃から浄土ヶ浜には行っており子供ながらにあのコバルトブルーの海は本当にきれいななあーと思った記憶があります。その後いろいろと、仕事やイベント等で行ったりもするのですが、このすばらしい景観の陸中海岸国立公園浄土ヶ浜をいつまでもいつまでも、変わる事なく残ってほしいと思うのであります。

自然の驚異や、自然の前では人間は為す術もなく、たじろいでしまいますが、残していくには、私たち人間が出来る事、地域の皆で出来る事を考え、大切な地域の大きな財産を守っていけないものかと、考えた年の初めとなりました。



日広連・賠償共済のおすすめ

- 賠償第一スタンダード
多くの皆様にご加入のスタンダードタイプ
- 第一賠償ゴールド
塗装・熔接事故も支払い対象。さらに、作業している壁面、ガラス等も対象。保険金は対人5億円、対物5,000万円。今、おすすめです。
- 第一賠償シルバー
低コストで必要な補償をカバーできる新商品
- 賠償第二動産総合
施主の保険＝第二。看板本体の保険＝動産総合。物件ごとの加入が出来ます。

社団法人全日本屋外広告業団体連合会

引き受け保険会社 東京海上日動火災保険株式会社
代理店・有限会社アールエージェンシー

編集後記

ようやく春の兆しが見られるようになってまいりました。ようやくと言えば、東北地区連事務所にメールで原稿が送れるようになりました！情報文化委員としては一歩前進した感がありとても嬉しく感じております。○○○○やichatなどを使ったビデオチャットで会議ができるようになるのもそう遠いことではないような気がします。

余談ではありますが、昨日も神奈川に住んでいる友人とSkypeを使ってお互いにお酒を飲みながら小一時間ばかりビデオチャットをしていました。慣れてくるとあたかも一緒に飲んでいるような錯覚に陥ります。こんな素晴らしいツールが無料で使えるなんて（インターネット回線料はかかりますが）つくづく本当にイイ時代になったなあと思う昨今です。

(青広美 木村)

